

【地域農業情報⑦】

新たな組織体制で出口対策を強化！

～生産振興から出口戦略まで一貫した普及活動に取り組んでいます～

平成 30 年 4 月の組織改編で、中予地方局産業振興内に産地戦略推進室を創設し、農産物等の販売促進に向けた取組みを強化しました。

◆「さくらひめの郷」から、しあわせを届けます！

東温市商工会女性部は、東温市を「さくらひめの郷」として地域を盛り上げようと、さくらひめの生産者と連携し、花束や花かごを届ける「とうおんしあわせ便」に取り組んでいます。

本年度の第 1 弾はクリスマスシーズンの 12 月に実施し、第 2 弾は卒業式シーズンの 3 月に予定しています。

利用者からは大好評で、地方局としても本県オリジナルの特産花きとして生産拡大を図るとともに、さくらひめのブランド化を進めてまいります。



中予地方局長に第 1 便を贈呈

◆県内唯一、温室みかんの海外輸出

人口減少による国内市場の縮小や TPP 協定等の国際環境の変化などに的確に対応して産地間競争に打ち勝っていくためには、これまで以上に高品質化やブランド化を追求するとともに、海外への販売拡大にも戦略的に取り組む必要があります。

そこで、品質も良く国内でも評価の高い J A えひめ中央の温室みかんの台湾輸出を本庁ブランド戦略課と連携して支援しました。

30 年産の温室みかん約 3.6 t を昨年 9 月に輸出し、中秋節に合わせたプロモーションを行うことで、海外における愛媛かんきつのブランド定着に取り組ましました。



台湾の高級スーパーでの販促

◆なかじまサーモン(仮称)で地域を元気に！

松山市の上怒和地区（旧中島町の怒和島）では、新鮮なご当地サーモンを消費者に届けようと、管内初の試みとしてサーモンの試験養殖を行っています。

このサーモンは、伊予柑オイルを添加した餌を与えることで、「かんきつの風味が爽やかに香る」のが特徴です。

昨年 12 月に実施したサーモン加工品の試食販売イベントでは、用意した伊予柑風味の干物、パエリアの素をはじめ全ての商品が完売するなど大変好評で、高齢化や人口減少が進む離島の新たな産業資源として、地元の活性化に繋がることが期待されています。



松前町の大型商業施設での試食販売イベント

【お知らせ情報】

県育成品種「ひめの凜」「さくらひめ」「紅い雫」作りませんか ～高品質安定生産で「儲かる農業」の実現を～

【ひめの凜】

県が育成した水稻で、高温登熟条件下でも品質のよい良食味の中生のうるち系統です。‘ヒノヒカリ’に比べ、収量性は高く、耐倒伏性は同程度、出穂期・成熟期はやや遅いといった特徴があります。

31年産から一般栽培がスタートしますが、美味しい米づくりに意欲あふれる方を栽培者として認定し、食味分析も行い「美味しさ」に基づきランク分けするなど、消費者の信頼も得ながらブランド力を高めていくこととしています。



【さくらひめ】



県が育成したシネンシス系のデルフィニウムで、花色のピンクが濃く鮮やかで、一枝の花数が多いのが特徴です。

12月のクリスマスから6月のブライダルシーズンまで年3回の収穫が可能で、「希望」「可憐な乙女」の花言葉のように様々な場面で華やいだ雰囲気してくれる切花です。

また、鉢物としての栽培にも取り組み、需要の多い花の一つとなっています。

【紅い雫】

県が育成したいちごで、果実全体が赤く、雫のような美しい果形で、糖度が高く酸味もある濃厚な味わいが特徴です。

花芽の分化が極めて良好で収穫開始時期も早く、長期出荷が可能で、土壤病害（萎黄病）にも強いといったメリットがあります。

現在、中予管内では約2ha栽培されており、今後も栽培面積や販路の拡大が期待されています。

